

electro-harmonix

BAD STONE

Electro-Harmonix BAD STONEをご購入いただきありがとうございます。本機は、1970年代に非常に人気を博したクラシック・ペダルを"NANO"シリーズの筐体で現代に甦えさせたモデルです。6段のフェイズステージを持ち、RATE/FEEDBACKコントロール、そしてフェイズ効果を"フリーズ"させて新しい効果を生む、MANUAL SHIFTコントロールを搭載しています。なお、スイッチング方式はトゥルーバイパスを採用しており、バイパス時もオリジナルのサウンドに影響しません。

ー コントロールについて ー

RATE(レート)コントロール: 本機のモジュレーションのスピードを、内部の低周波発振(LFO)の設定で調節します。スピードの範囲は、0.05Hz~32Hzです(注意: オリジナルのBAD STONEのLFOの帯域は0.2Hz~32Hzでした。よりスローなフェイズが得られると判断して変更を行いました。このように100%のリイシューモデルではなく、製品全体として良くなるように改善が施されています)。このコントロールの設定は、AUTO/MANUAL切替スイッチがMANUALモードに設定されているときは無効になります。

FEEDBACK(フィードバック)コントロール: フェイズシフト回路のアウトプットからインプットに入る信号のフィードバックの量を調節します。時計回りに回すに従いフェイズエフェクトはより鮮明になり、さらにはより深くまたは高域が"ピーキー"になります。

MANUAL SHIFT(マニュアルシフト)コントロール: フェイズシフトの帯域をスweepし、ワウのようなサウンドを生み出します。最大の効果を得るには、時計回り一杯に回しきります。なお、このコントロールはAUTO/MANUAL切替スイッチがMANUALモードに設定されているときのみ有効になります。

AUTO/MANUAL切替スイッチ: トグルスイッチでAUTO(オート)とMANUAL(マニュアル)の切替が可能です。AUTO(オート)モードでは、BAD STONEのLFOの設定によって、モジュレーションエフェクトが掛かります。MANUAL(マニュアル)モードでは、LFOは無効になり、MANUAL SHIFTコントロールでスweepするフェイズシフトの帯域を調節します。

フットスイッチ & LED: このスイッチで、本体エフェクトのオンとオフ(トゥルーバイパス)を切り替えます。オンにすると、スイッチ横のLEDが点灯します。

INPUT(インプット)ジャック: ご使用の楽器を接続する入力端子で、接続には楽器用ケーブルを使用します。入力インピーダンスは95kΩです。

AMP(アンプ)ジャック: 本機からの信号を出力する端子で、アンプや後段のエフェクター等と接続します。接続には楽器用ケーブルを使用します。出力インピーダンスは4.7kΩです。

9V電源ジャック:本機の頭側に配置されている、電源アダプターを接続するための入力端子です。本機は9V電池 x 1または別売のElectro-Harmonix JP9.6DC-200 ACアダプター(9VDCセンターマイナス)で駆動します。(それ以外の、誤ったACアダプターの使用は故障や事故の原因となります)。本機の消費電流は18mA(9VDC使用時)です。

電池交換について:電池交換時は、本体底面の4つのネジを外します。裏蓋を外している間は、誤って基板に触れて破損しないようにご注意ください。

